

吟香生誕記念講演会

講演「宝寿寺会陽の起源について」

黄蕨の会代表 丸谷 憲二 氏



プロフィール

金沢工業高等専門学校卒業。2014 年までISO 9001 コンサルタント。現在黄蕨(きび)の会代表、吉備国語り部の会代表世話人。著書に「正保貳年(1645)学館院記録所文書調査報告書」、「荘内半島の中世史・学館院記録所文書調査報告書Ⅱ」など。岡山市東区西大寺在住。

日時 令和6年

5月26日(日)

場所 美咲町中坩和 634

天台宗「宝寿寺」

募集 40人

参加費 無料

日程

10:30 開会挨拶

語り継ぐ会代表

10:35 植樹報告

10:45 講演

12:00 閉会挨拶

坩和地区協働代表

12:05 懇親(食事)

13:00 解散

寶壽寺(天台宗)

大藏院(現美咲町龍原)の地で産声をあげた阪本館こと岸田吟香は、5歳のとき当寺院(寺子屋)で学び、12歳で坪井(現津山市)の太庄屋安藤養一の学僧となる。津山に出て19歳で江戸に向かうが、当寺院は吟香原産の寺である。

岸田吟香(幼名: 那太郎)(1833-1905)
日本初和字新聞編輯・和英辞書編纂・和英辞書編纂
日本初和字新聞編輯・和英辞書編纂・和英辞書編纂
新聞刊・水産省目録編纂・和英辞書編纂・和英辞書編纂
漢字学校開設・アヘン撲滅運動・八幡宮奉還運動
日清貿易立役者等々、日本を代表する実業家
兼ジャーナリスト、教育者、慈善家である。



岸田吟香(1833-1905)

5歳の時、宝寿寺の住職が開いていた寺子屋に通った幼名辰太郎は、幕末から明治期、この激動の時代を前向きに生きた人で美咲町の出身。

日本初の液体目薬製造、日本初の邦字新聞発刊、日本初の従軍記者、日本初の和英辞書編集、また盲啞学校・孤児の救済、日清貿易・文化交流を先導し近代日本の礎を築いた。

(肖像写真: 岸田正彦所蔵)



主催 岸田吟香を語り継ぐ会

共催 坩和地区協働のまちづくり推進協議会

後援 山陽新聞社、津山朝日新聞社

お問い合わせ

山本 090-1015-2367

時澤 090-3631-4114